

あけましておめでとうございます

## नयां वर्षको उपलक्ष्यमा मंगलमय शुभकामना

2018 年、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

ミランクラブジャパンの活動が始まって今年で 30 年目を迎える。会員の皆様や多くの方々に支えられ、様々な活動を行って来た。私たちの活動目的は一貫して社会から取り残されている恵まれない孤児や母子家庭の女子への教育支援である。

私たちが掲げて来たスローガンは『すべての女性に教育を！』である。教育を通し女性の自立や幸福を促し、国の発展にも寄与できるよう願うからである。

なぜ私たちが女子だけを就学支援対象にと聞かれることがある。ネパールでは勉強をしたくても学校へ行けない子供が大勢いる。特に地方の女子への教育は後回しにされる。その理由は以下の事柄によるものである。

- ◆ 社会に男尊女卑の風潮が根強く残っており、女性は教育の機会に恵まれていないこと。
- ◆ カースト制度による差別や偏見が未だに残っていること。
- ◆ 女性の地位が低いため現金収入の仕事がなく子供への教育は後回しにされること。
- ◆ 早婚、10 代での出産により教育や社会進出から遠ざかってしまうこと。
- ◆ 教育を受けられなかった女性が母親になり、子供に教育の大切さを伝えられないこと。
- ◆ 弱い立場の女性への家庭内暴力、虐待や人身売買の存在があること。

一部の都市部では地方に比べ教育施設も多く、教育への重要性も周知されてきていて、また海外からの影響もあり男女差別はなくなってきた。しかし農村では未だに差別が根強く残っている現状である。

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン  
理事長 マナダール マダーブ ナラエン

ここに、昨年度ミランクラブジャパンが行った主な活動内容について報告する。

2015 年 4 月 25 日に起きたネパール大地震の復興はまだまだ成されてなく、国からの支援もないまま多くの貧しい被災者が取り残されている。

震災から約 2 年半、インドの内政干渉があり、新憲法制定による選挙があり、国が混乱する中、復興は遅れ経済も遅れたままである。

ミランクラブジャパンは教育支援活動と並行して災害支援活動も行い、そして 2 年前から始まった JICA 基金からの特別奨学金を昨年も引き続き被災した困窮家庭の女の子たちに渡してきた。今年も支援を継続できるよう申請手続きを行う。これは被災により勉強が中断することなく続けられるよう設けられたものである。

国内での活動は以下の通りである。

### 5 月 27 日

越谷しらこぼと水上公園で埼玉支部によるフリーマーケット参加。

### 5 月 3、4 日

さいたま市民の森・見沼グリーンセンターにて国際友好フェア 2017 に参加。

### 7 月 9 日

埼玉県蕨市のネパール料理店「ストウパー」でチャリティーコンサート 2017 を開催。

### 9 月 30、10 月 1 日

東京お台場で国際イベントとしては日本最大級の『グローバルフェスタ JAPAN2017』に参加。

### 10 月 9 日

横浜市グランモール公園で、よこはま国際フェスタ 2017 に参加。

**11月5日**

さいたま新都心、さいたまスーパーアリーナで国際フェア 2017 に参加。

**11月18～22日**

さいたま市市民活動サポートセンターでネパール大地震の復興を願うパネル展、ネパールの子ども絵画展を行う。

次に私たちが行っている支援の現状を紹介する。

**1. ミラン里子制度**

1990年から始まったミラン里子制度、現在の里親会員は96名になる。会員からの会費15,000円の内、12,000円は利子の高いネパールの金融機関に預け、その利子からの教育支援を行っている。しかし年々利子は下がっていて、ここ数年は元本を取り崩しながら支援を継続している。ネパールへ送金後、残りの3,000円は国内活動費として使わせていただいている。他の支援団体による短期間の支援と違い、私たちは自立可能な高校卒業までとしている。又、高校を優秀な成績で卒業し、大学へ進学希望がある里子にも特別里親を募り支援している。

**年度別支援里子人数**

1名 1990年	1名 1991年	11名 1992-93年	19名 1994年
29名 1995年	23名 1996年	29名 1997年	27名 1998年
37名 1999年	45名 2000年	26名 2001年	31名 2002年
32名 2003年	118名 2004年	26名 2005年	54名 2006年
34名 2007年	42名 2008年	31名 2009年	35名 2010年
33名 2001年	46名 2012年	45名 2013年	69名 2014年
47名 2015年	44名 2016年	37名 2017年	総合計 972名

1990年に1人の里子から始まったこの制度は現在972名になった。現在支援を受けている子供たちは以下の通りである。

学校	学年	人数
小学校	1年生	1
	2年生	14
	3年生	13
	4年生	24
	5年生	33
中学校	1年生	26
	2年生	30
	3年生	30
高等学校	1年生	33
	2年生	40
短大	1年生	11
	2年生	3
大学	1年生	4
	2年生	3
	3年生	2
	4年生	2
大学院	1年生	1
合計		270

里子たちの中には教員、会社員、エンジニア、医師、看護婦等の職業に就き自立し、社会貢献している卒業生も増えている。結婚した里子たちも教育の大切さを子供たちに伝えていくことでしょう。

昨年はミランクラブの最初の里子、ラミタ・マハルジャンさんを会員が日本に招き、2週間ほど滞在。日本でのボランティア活動参加や学校訪問等を行い、また観光や会員宅での滞在中文化・習慣にも触れてもらった。

彼女はミランクラブネパールの事務、会計を担当しており、日本を知ることにより今後の連絡や情報交換がスムーズにいくようになるのではと期待している。

ミランクラブは毎年支援金で賄える範囲で新しい里子を受け入れている。現在、教育支援費は小学校1年生から高校12年生(以前は10年生)までは700ルピー(約700円)を支援している。今年度からは、

ネパール国内の物価上昇に伴い、支援額を700ルピーから800ルピーにする予定である。

そして成績優秀で高校を卒業した里子には特別里親を募り支援を行う。現在の特別里親は8名で15名の里子の支援を行っている。

## 2. ミラン職業訓練所

今までミランダルマスタリ学園センター敷地内にある職業訓練所で年一回のミシンやコンピュータクラスを行ってきた。しかし2年前の大地震で建物が使えなくなったため、場所を変えクラスを持った。

昨年のコンピュータクラスは6月15日から10月17日まで行われ、先生はサガル・スレスタ氏、受講者は15名だった。シンドゥパルチョコ村にて行った。

ミシンのクラスは資金不足により行われなかった。

美容クラスはカトマンズのビムセンスタンで行った。このコースはすぐに仕事につながるため人気が高い。元里子が教師を務めてくれた。

最近では農村の人たちが都会に出かけ、必要なものを受講することもある。ミランクラブの職業訓練は近場で受講することができ、受講料もかからないので感謝されている。

また、今までダルマスタリ学園センターに設置してあるコンピュータ設備は一部の学生が有効に使えるようにしている。

自立に役立つ職業訓練では教材費の一部は自己負担もあるが、その他の費用、教師の給料や設備費などは教育環境整備会員からの会費で賄う。

## 3. ミランダルマスタリ学校

ミランダルマスタリ学校は創立から15年目を迎えた。多くの生徒が高等学校(SLC)を卒業し、短大、大学へ進学する。また留学する生徒も何人かいる。日本へ留学している2人は里子でもあった。

卒業後は自立でき社会貢献もできるよう願っている。

ネパール教育省の登録方針の下、保育園、幼稚園、小学校1年生～高校10年生まで全校生徒は462名(男子252名、女子210名)、教職員は28名になっている。

### MDS 学校生徒数と授業料

学 年	人数	学費(Rs./月)	
保育園	1年生	37	790
幼稚園	1年生	36	830
	2年生	55	870
小学校	1年生	37	900
	2年生	43	930
	3年生	41	960
	4年生	49	1,000
	5年生	29	1,040
中学校	1年生	32	1,100
	2年生	26	1,140
	3年生	30	1,170
高校	1年生	27	1,230
	2年生	20	1,290
<b>全校生徒数462名</b>			

学校では奨学金制度を設けており78名が給付を受けている。奨学金の種類は全額、半額、20%免除となっている。

学費は経済的に恵まれない子供たちも学べるよう、他の私立学校から比べると3分の1の安さで、公立学校から比べても2分の1となっている。その他、後述する通学バス、シャワー設備等が先生たちの給料の安さの改善より先になり、今後の課題となっている。



各学校の評価は、難関である高等学校卒業試験（SLC）にどれだけの生徒が合格するかで決まる。ミラダルマスタリ学校では合格率 100%で、昨年も一昨年もの特等級や一等級に当たる優秀な成績を残すことができた。今年の受験生 16 名にも頑張ってもらいたい。

学校はまだまだ設備等は不足しているが、一昨年から Wi-Fi も設置され、外部との連絡は大変便利になっている。

学校紹介のホームページも下記により常時更新している。

(<http://www.milanschool.edu.np>)

昨年より通学バスを導入、利用者は 90 名となっており、一台のバスで朝夕、各 2 往復している。

そして不定期になるが可能な範囲で全校生徒の健康チェックや年 2 回の遠足なども行っている。学校の評判はとて良く、遠方からも通って来ているのでミラン寄宿舎の利用も増えてきている。

#### 4. ミラン図書室

ダルマスタリ学校では、ミラン図書室がある。ここには保育園から大学まで幅広く利用できる約 8,500 冊の図書が揃えられ、多くの生徒に利用されている。放課後は、高校生が勉強に使ったり、隣の寄宿舎の生徒たちも自由に使えるようになっている。また地域住民にも一部開放されている。

図書室にはインターネットやコピー機も備えられているため、学校の授業にも活用されている。

昨年増築した 2 階部分は学校の音楽室として、教職員の会議室としてと、その時々に応じて使用している。



#### 5. ミラン寄宿舎

ミラン寄宿舎は学校敷地内にあり、通学は 1 分もかからない便利さである。現在 27 名の生徒が暮らしている。昨年度から寄宿生の食事の世話はスピナ・カテワダ女史が担当している。今までの長年の料理担当、スタリ・スレスタ女史は学校の方に移動になった。

そして学園内の一番古くからガードマンとして勤めてきたハリー・バクタ・カドギ氏は昨年引退した。現在のガードマンはビノード・カトリ氏になった。なおスミトラ・アディカリ先生、ルパク・アディカリ先生とジャエラム・ラミチャネ校長が今まで通り寄宿舎の運営を行っている。3 人の先生は、放課後の学習指導や宿題の手伝い、子供たちの生活指導も行っている。

寄宿舎は 2 階建てで、1 部屋に 2 段ベッドが 4 つあり、8 名入れるようになっている。1 階に 4 部屋と食堂と学習室があり、2 階には 8 部屋ある。1 階は男子生徒で 2 階には女子生徒の部屋がある。そして食堂はイベント時にも使用される。

ゲストルームにはすでにあつたお湯が出るシャワーは、昨年の秋から子供たちのシャワールームにも設置した。

2017 年 12 月現在

学年	寄宿費 (Rs. /月)	人数
幼稚園	5,100	3
小学生	5,500~6,200	4
中学生	6,200~7,200	6
高校生	8,500	14
合計		27

私たちの活動は、皆様からの変わらぬご支援にいつも助けられています。

子供たちが学校へ当たり前のように通えるようになるための手助けを今年も続けていきます。子供たちに笑顔になってほしい、将来の夢を持ってほしい、学んだことで自立して行ってほしいと願っています。

これからもどうぞよろしくお願い致します。